



HOPPY team TSUCHIYA
レース結果報告書
2024SUPER GT Rd.8 MOTEGI

■日時	2024年11月2-3日	■車両名	HOPPY Schatz GR Supra GT
■場所	モビリティリゾートもてぎ	■ゼッケン	25
■監督	土屋 武士	■ドライバー	菅波冬悟／松井孝允
■チーム	HOPPY team TSUCHIYA	■リザルト	予選 14位／決勝 リタイヤ

入賞目指してスタートを切るも まさかのマシントラブルでリタイヤに

11月2、3日、栃木・モビリティリゾートもてぎにおいてSUPER GT第8戦「MOTEGI 300km RACE」が行なわれた。菅波冬悟、松井孝允両選手を擁するNo.25 HOPPY Schatz GR Supra GTは、予選14位からスタートを切るも、8周目にマシントラブルが発生。グラベルストップとなり、惜しくもリタイヤを喫している。

前戦の第7戦オートポリスからわずか2週間後。秋の深まりを感じる栃木・モビリティリゾートもてぎにやってきたホピ子です。オートポリスでは入賞まであと一歩に迫る走りをお見せすることができたせいか、心地よい疲れのあと(笑)、九州からガレージに戻って慌ただしくメンテナンスを行ない、そしてもてぎに向かう、というバタバタの日々を過ごしておりました。正しくは、私が何かしたわけでもなく、ガレージのみんながひたすらがんばってお仕事をこなしてくれただけですけどね！

一方、レースはというと、SUGO以降オートポリスも雨に翻弄されましたが、もてぎもまた雨模様。これほどまで“水を差される”と少し腹立たしさも出てきたりして……。でも自然界のことなのでどうすることもできず、どうか無事にセッションが進みますように、と願いつつレースウィークを過ごしたホピ子でした。

もてぎは、いわゆる“ストップ＆ゴー”のレイアウトを持つサーキット。アクセルを開けて加速したと思ったら、すぐにブレーキングを繰り返すという特徴あるコースなので、レース中は何かとストレスがたまるんです。抜けそうで抜けない……この繰り返しなので、できる限り予選で前のグリッドがほしいところ。そのためにも、予選日の公式練習からしっかりと走り込んでセットアップを煮詰めていきたくはあったけど、そんなときに限って雨が……。

午前9時にスタートした公式練習では、あろうことか真っ先にホピ子が皆さんにご迷惑をおかけしちゃいました。まず、松井孝允くんがコースに向かったところ、エンジンストップとなりまして。ハーネスのトラブルだったんですが、車両回収の末にピットに戻っての修復作業となりました。7分ほどでセッションは再開したものの、また別のクルマがスピン、とその後ろも落ち着きなく、赤旗が続きました。結果的にGT300、GT500両クラスの車両がコントロールするのが難しいという危険な状態だったと思います。

作業が終わってホピ子があらためてコースに向かったのは、午前9時40分過ぎ。しっかりとできるだけ周回したかったけど、コース上は川のようになっていて、ハイドロプレーニングを起こしてコースアウトするクルマもいたようです。結局すぐに3回目の赤旗が出て中断に。最終的には、午前10時22分に5回目の赤旗中断となり、そのまま混走セッションが終了となりました。この間には菅波冬悟くんも走行はできたものの、正直、ホピ子の様子を冬悟くんも孝允くんもよくわからないままだったかもしれません。その後、10分間のGT300クラス

専有走行がスタートしたものの、折り返しを前にして赤旗中断となり、セッションが終了。後に控えていた GT500 クラスもセッションがキャンセルされるなど、誰もが存分に走れないまま、公式練習が終了したのです。

ところが、不思議なことにその後のピットウォークがはじまると、少しだけ雨も小康状態に。前回のオートポリスもそうだったけど、ファンサービスの間はお天道様も“サービス”してくれるんですかね（笑）。

サーキットへと足を運んでくださった皆さんが風邪などひかれないようにと願うばかりのホピ子でした。

午後の予選は、ウエット宣言下でのセッションとなりました。この場合、GT300 クラスは全 27 台が 20 分間の Q1 に出走し、上位 14 台の U14 と 15 位以下の L15 の 2 グループに区分し、Q2 のタイムで予選順位が決まるんです。タイヤ使用数の制限もありません。Q1 では孝允くんがアタックを担当したんだけど、残り時間 2 分に 1 台が S 字入口でストップし、赤旗中断。結局、チェッカーを前にして Q1 が終了することになったのです。孝允くんはというと、2 分 01 秒 705 をマークして 12 位通過を達成！ グッジョブです!! この日がお誕生日だった冬悟くん最高のプレゼントを決めてくれました！ そして、U14 グループの Q2 では冬悟くんがアタック。ラストアタックでチームベストタイムを更新して 2 分 06 秒 688 をマークし、決勝は 14 番手スタートに。なかなかタフな予選日だったけど、天気予報によると決勝は晴れてドライコンディションで戦えそう。それを知ったホピ子のテンションは、もてぎこそ入賞だ！ それっきゃない!! とじわじわと上がっていくのでありました。

天気予報どおり、翌日は朝から雲ひとつない青空がサーキットに広がりました。穏やかな日差しにも恵まれ、まさに小春日和です。ああ、もう一日早くこの天気にならなかったの!? とちょっと恨めしく思ったりもしました。ただ、これからレースを控えるチームとしては、そんな悠長なことを言ってる場合にはありません。決勝前のウォームアップ走行で、しっかりとレースに向けての最終確認をしなくては！ でも、“最終”っていうより今回はどちらかというと、レースウィークで初めてとなる 20 分間のドライコンディションで何を最優先すべきかフォーカスしないといけなかったんですけどね。気温 21 度、路面温度 29 度のなかでセッションがスタートし、ドライタイヤの皮むきや熱入れなど、ほんとすべきことが山積という感じでした。

午後 1 時からのスタートを前に、少しずつ気温、路面温度が上昇。気温 22 度、路面温度 31 度のなか、まずは栃木県警による白バイとパトカーのパレードラップ、そしてフォーメーションラップ。このスタイルも久しぶりでしたね。スタートドライバーは冬悟くん。タイヤが温まってきたら、しっかり前を向いて好機を狙っていこう、そう思って走っていたことでしょう。ですが、8 周目、130R 先の S 字カーブのグラベルに突如ホピ子を停めてしまいました。なんと右後輪タイヤが外れてしまうというトラブルが発生したんです。外れたタイヤがお客様のいる場所に飛んでいかずにホッとしましたが、それと同時にもうここでレースを終えることになるとは。ホピ子の頭のなかは真っ白。回収されてチームピットにクルマが戻り、もてぎの戦いが終わってしまいました。

武士監督によると、リヤハブ破損が原因でタイヤが脱落したんだって。ひとつ間違えば大きな事故に繋がる可能性があったそう。冬悟くんが安全を確保した上でグラベルにクルマを止められたのは、不幸中の幸いだったんですね。シーズン中、これまでと異なる環境でのレースが続き、想定以上の負荷がかかってしまったのか、パーツ破損に至った経緯を推測した上で、もうすでに、最終戦の鈴鹿に向けて対策品の設計始めています。次のレースまで 1 ヶ月あることが味方してくれそうです。

もてぎで結果を残し、今シーズンの集大成を鈴鹿で！ と思っていたけど、今はしっかりと鈴鹿での戦いを見据えて準備することが大事。ホピ子は鈴鹿との相性もバッチリですしね！ 寒い鈴鹿でのレースは未知数だけど、どんなタイムが出せるのか、ひそかな楽しみでもあります。ドライバーふたり、チームスタッフのみんな、そしてサポーターの皆さんとともに、シーズン最後の一戦を笑顔で終わられるよう、見守っててください。そうそう、鈴鹿にはしっかりと防寒対策の上、お見えになってくださいね！

■レースを終えて

【菅波 冬悟】

スーパーGT もてぎラウンドも応援ありがとうございました！

今大会も前回到続いて雨が絡んでしまう生憎の天気でしたが、予選では Q1 を突破して 14 位を獲得できるなどポジティブなこともありました。さらに、ドライコンディションとなった決勝でもマシンのフィーリングは今年で 1 番良く、ポイント争いが出来そうなレースでしたがマシントラブルによりリタイアという結果となりました。リタイアは残念でしたが、今年の中で 1 番戦える実感を持ってレースが出来て気持ちは非常に前向きです。次戦は鈴鹿で最終戦となりますが、我々の得意なサーキットでもありますし、しっかりと結果を残して終われるように頑張ります。

【松井 孝允】

前回のオートポリスから調子も良くなってきて、今回も予選はウェットコンディションではありましたが、クルマはポジティブな印象を受けましたし、予選でも今季初の U14 に進む事が出来ました。

ドライの決勝では菅波選手が良い走りをしていたので最終戦に向けて、ポジティブな気持ちで挑めます。今回の車両トラブルでリタイアは残念でしたが、次戦では更に進化して挑む事ができると信じています。たくさんの応援ありがとうございました。

最終戦は笑顔で終われるようにチーム全員で挑みます！

【佐藤 公哉】

皆様、今大会もたくさんのご声援ありがとうございました！

レースの方は残念ながらトラブルによりリタイアとなってしまいましたが、最終戦に向けて楽しみなレースだったと思います。予選日は天候で荒れる中、たくさんの方々がご来場いただきピットウォーク、キッズウォークでもありがとうございました！

最終戦鈴鹿ラウンドも引き続き応援宜しくお願いします！

【土屋 武士監督】

まずは今回車両のトラブルで決勝中にタイヤが脱落してしまい、皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びしたいと思います。現在原因ははっきりしているので、次戦には対策を施したうえで参戦いたします。

今回ウェットの予選では、Q1 でアッパークラスの 12 位に入れたことは、これまでの成長と孝允の素晴らしい走りによるものでチームの士気が上がりました。苦手と思っていたウェットともてぎでのこの結果は非常に今後につながるものですし、ここまで積み上げてきたものが着実に前に進んでいることを表していると思います。

決勝では展開的にも楽しみな内容でしたが、この続きは最終戦鈴鹿で見てください。まずは最後、ドライバーたちが思いっきり走れるようなレースウィークにできるように、しっかりと準備して挑みます。

今回も沢山の応援をありがとうございました！ 次回、最終戦もよろしく願いいたします！！

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原2507

TEL : 0466-49-5010 FAX : 0466-49-5011

担当： 土屋・佐々木